

第7回
「環境未来都市」構想推進国際フォーラム
2017年10月4日

地域レベルでのSDGsの実施

誰一人取り残さない都市をつくるために



国連人間居住計画(ハビタット)事務局次長
アイサ・キラボ・カチラ博士

都市化と人間の安全保障

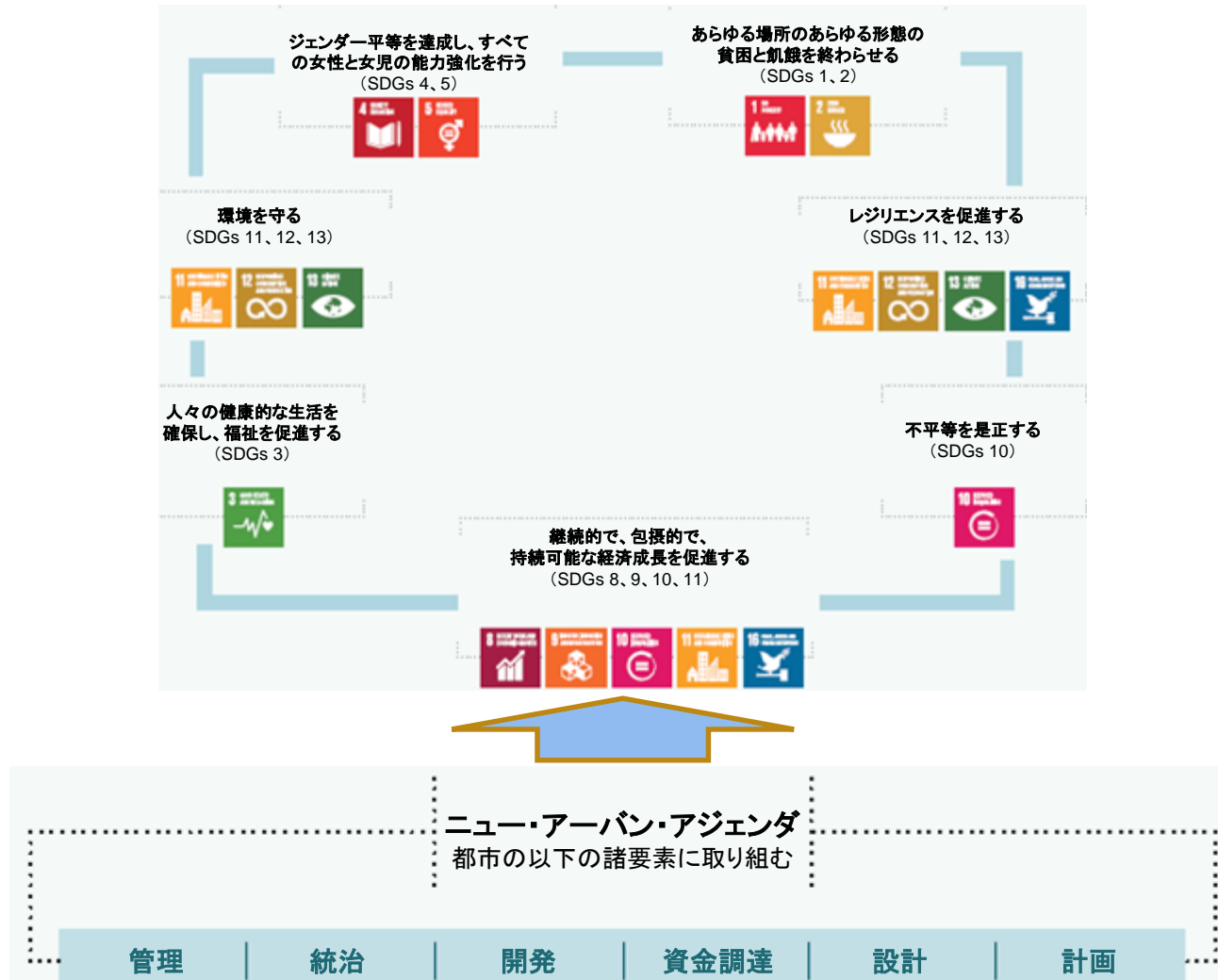


ヨハネスブルクの
キャサンズ地区とブ
ロウネスラント地区

出典: ガーディアン紙、
「Divided cities (分断され
た都市)」2016年6月23日

- ▶ 都市化の管理と計画は安価で実施可能
- ▶ 現在の都市化モデルは、空間的な不平等と都市の分断を生み出す
- ▶ さらに現在のモデルは、パリ協定で詳しく述べられている通り、天災と人災の両方に対する脆弱性ももたらす

1. 地方自治体とSDGsおよびNUAの実施



1.地方自治体とSDGsおよびNUAの実施

- 安全で包摂的で強靱(レジリエント)な都市及び人間居住を実現するために、ニュー・アーバン・アジェンダのツールを活用して2030アジェンダをローカライズ(現地化)しなければならない
 - 統合的な国の都市政策の見直しと強化
 - 地方自治体の能力強化
 - ガバナンス(技術面および財政面)
 - 要素別データを活用した、知識に基づく意思決定

2. 都市化が進む世界における日本



福岡は、巧みに計画された、コンパクトで住みやすい都市として知られるようになった

日本は困難を資産に変える精神をはぐくんできた。

- ▶ 60年代と70年代の日本の工業化: 急速な都市化と質の高い公共サービスの提供に関する知識
 - ▶ 今日の開発途上国の急速に都市化する都市とのシナジー!
- ▶ 超高齢化と人口減少という課題の経験
 - ▶ 「環境未来都市」構想とエコモデル都市は、欧州や北米の都市が今後直面する課題に対処するための取り組み

2. 安全で持続可能な人間居住を実現するための日本の国際支援

▶ 国連ハビタットとのパートナーシップ: 2012-2016年

準地域	事業総額 (100万米ドル)	受益者 (ターゲット)
アジア太平洋	84.04	5,522,915
アラブ諸国	39.7	21,700
アフリカ	17.7	482,345
合計	141.44	6,026,960

2. 都市化する世界における日本: 事例紹介

・ ミャンマー: 脆弱な貧困コミュニティへの緊急援助プログラム

- ▶ 少数民族地域における居住と経済のレジリエンスを改善
- ▶ 530万米ドル、受益者: 62,238人



アフガニスタン: コミュニティ主導の都市インフラ事業

- ▶ 新たに発生した難民の緊急ニーズに応えることにより、アフガニスタン5都市の安全保障と安定化を実現
- ▶ 2,000万米ドル、受益者: 352,000人



2. 都市化する世界における日本: 事例紹介

ケニア・キアンブ県における 埋め立て廃棄物処分施設建設

- ▶ 福岡の準好気性埋立手法をキアンブで実施して成功
- ▶ 50万米ドル、受益者: 160万人



実施前後のカンブウキ (Kang'uiki) の廃棄物処分場

ケニアと南スーダンにおける 難民キャンプ計画

- ▶ 難民キャンプ計画を統合してレジリエンス向上
- ▶ 280万米ドル、受益者: 130,000人



2. 都市化する世界における日本:事例紹介

イラク:「仮設住宅地の建設による イラク国内避難民への人道支援」

- ▶ バグダッド州、ドホーク州、カルバラー州の仮設住宅1,559棟を含む、インフラと公共施設の建設
- ▶ 1,500万米ドル、受益者:8,954人

イラク:「ジェンダーに配慮したイラク 国内避難民向け仮設住宅地建設支援」 ／「イラク国内の解放地域における都市 復旧促進」

- ▶ レバントのイスラム国(ISIL)から解放された地域の破壊された住宅再建等
- ▶ 970万米ドル、受益者:6,400人



3. 今後の展開

- ▶ 過去20年間に日本が行ってきた活動の信頼性と大きな影響を土台として、以下にさらなる投資を行う
- ▶ 以下に重点を置いた、事務総長のアジェンダと国連改革プロセス
 - ▶ 紛争の防止と平和
 - ▶ 人道支援と開発の結びつき
- ▶ とくに、都市化が急速に進み、能力が低く、脆弱性が高い地域において、2030アジェンダのローカライズとニュー・アーバン・アジェンダの実施をさらに促進する
- ▶ 相互学習とネットワーキング能力のための「環境未来都市」イニシアチブなど、課題主導型のパートナーシップを強化する

3. 今後の展開

- ▶ 知識と調査能力と協調の中心機関としての国連ハビタットを支援する
- ▶ 地域内外の能力構築と報告を強化する
- ▶ 協調のためのプラットフォーム



第9回世界都市フォーラムと今後の展開



- ▶ 2018年2月にマレーシアのクアラルンプールで開催される第9回世界都市フォーラムは、ニュー・アーバン・アジェンダの実施をテーマとした初のグローバルイベント
- ▶ ニュー・アーバン・アジェンダ実施の中心機関としての国連ハビタット
- ▶ 国連ハビタット福岡本部(アジア太平洋地域担当)を通じた連携の継続・強化

ありがとうございました！

